

■ eラーニングの目的

災害時に活動する応援職員等が、現地で従事する業務について標準化された業務手順(Standard Operating Procedure)を短時間で学ぶことにより、地方公共団体の災害対応力の向上を図る。

■ 対象テーマ

防災基本計画を踏まえ、災害時に多くの応援職員等が即戦力として活躍することが期待される下記の業務を当面のテーマとする。

- ・ 避難所開設・運営 (済)
- ・ 避難情報の判断・伝達 (済)
- ・ 災害廃棄物処理
- ・ 住家被害認定調査・罹災証明書交付 (済)
- ・ 要配慮者への支援
- ・ 防疫・遺体処理

※ 現在作成中のテーマ

(ア) 防災SP養成eラーニングの名称について

■ eラーニングの活用促進上の課題

- ・ 名称に「防災スペシャリスト養成」が付くことで、防災担当部署以外の職員も対象とすることが伝わりづらい。

※ eラーニングの受講者像と「防災スペシャリスト養成」の人物像とは、必ずしも同一ではない。

■ eラーニングの名称の検討

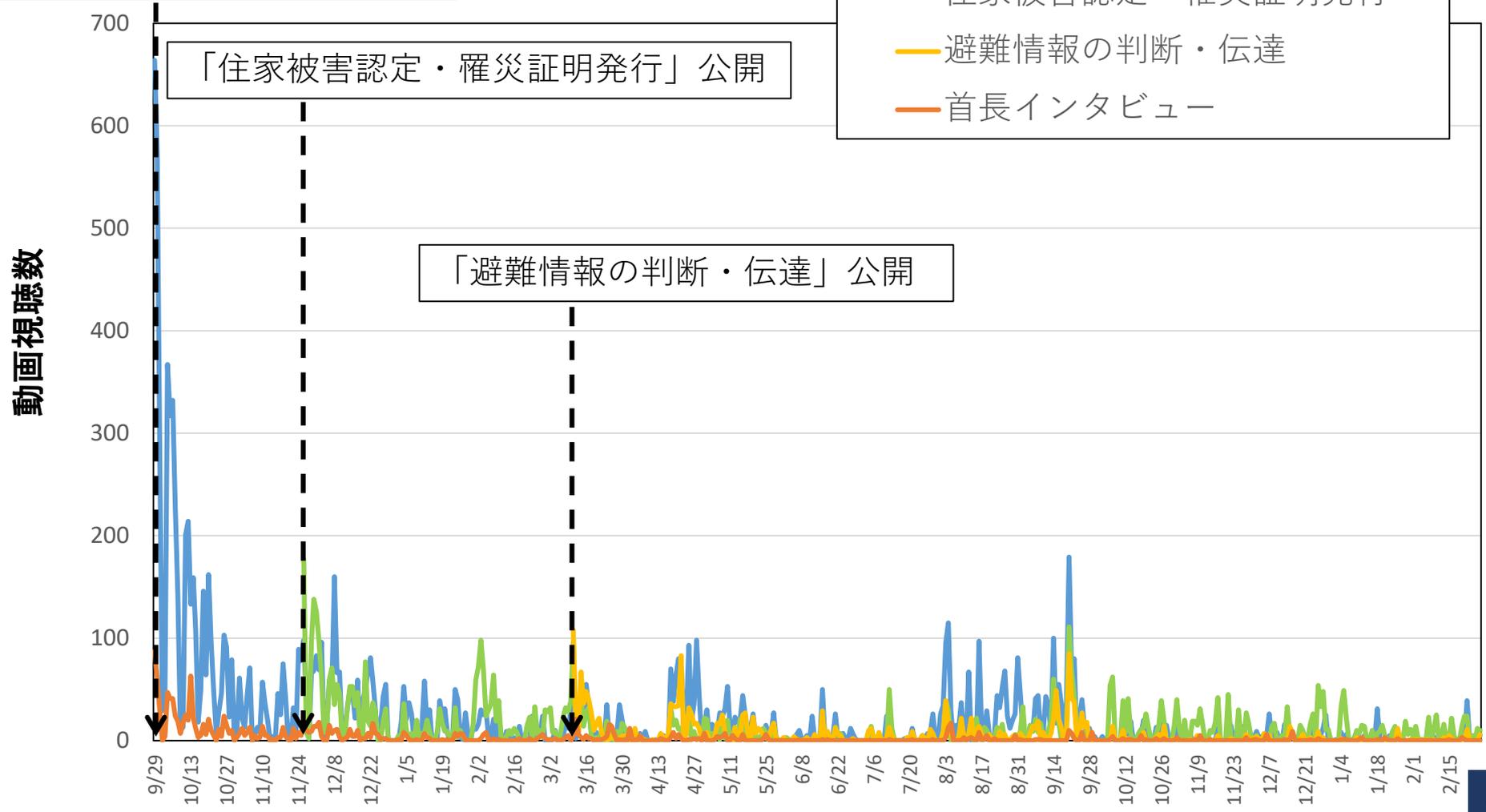
1. 名称を「防災スペシャリスト養成・**災害対応**eラーニング」としてはどうか
 - ➔ eラーニングの目的を明示するため「災害対応」を加える
2. eラーニングのWebページや受講を呼びかける文書、周知・広報資料等においては「**災害対応**eラーニング」と表記してはどうか
 - ➔ 防災担当部署以外の職員にも積極的に受講を呼びかける目的から、「防災スペシャリスト養成」の表記を省略する

災害対応 e ラーニングの視聴状況

総視聴数（2月28日13時時点）：避難所開設 12,338回、住家被害 5,653回、避難情報 2,051回、首長インタビュー 1,488回、総計 21,530回

「避難所開設・運営」
「首長インタビュー」公開

— 避難所開設・運営
— 住家被害認定・罹災証明発行
— 避難情報の判断・伝達
— 首長インタビュー





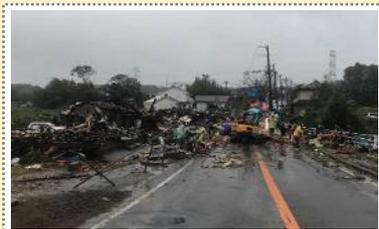
- 千葉県では、災害時に市町村が行う住家被害認定調査を、県が応援職員の派遣により支援する主要な災害対応業務のひとつに位置づけ、平成29年度より住家の被害認定調査に係る実務研修会を実施しているところ。
- 当該研修会の修了者は、受講後3年間、県危機管理政策課が整備する「県内被災市町村応援要員等名簿」に登録し、災害時の被災市町村に対する円滑な派遣調整のために活用することとしている。

問題意識

- ⇒ 令和元年に台風15号（房総半島台風）を始めとする風水害が短期間のうちに連続して発生し、県内各地で合計約10万棟にのぼる住家被害が発生。被災市町村の住家被害認定調査への大規模な応援が必要になった。
- 支援ニーズに対応するため、応援職員向けのオンデマンド研修会を開催し、従前は100人程度だった応援派遣の候補者を500人規模に増員。住家被害調査のため延べ約1700人の応援職員を派遣した。
- ⇒ 住家被害認定調査に対する県の更なる支援体制強化に向け、応援要員等名簿の既登録者の技能維持と新規登録者の増強のため、より効果的な研修の実施が必要になった。



令和元年房総半島台風



令和元年東日本台風

■連続した災害によりこれまでにない被害が発生（「千葉県災害復旧・復興に関する指針」より）

令和元年の一連の災害による被害状況	房総半島台風（台風15号）	東日本台風（台風19号）	10月25日の大雨
人的被害	死者	12人	1人
	重傷者	15人	3人
	軽傷者	76人	22人
住家被害	全壊	448棟	32棟
	半壊	4,694棟	379棟
	一部損壊	77,091棟	10,607棟
	床上・床下浸水	50棟	33棟
			715棟

県の支援体制強化に向けeラーニング活用

- 令和3年度は、応援要員等名簿登録者を対象とした「住家被害認定調査業務研修」に、災害対応eラーニング（住家被害認定調査／罹災証明発行）を教材として活用。既登録者の知識・技術の維持向上を図った。
- 令和4年度は、同eラーニングに演習問題等を加えた研修を実施。合わせて、応援体制の充実強化のため全庁各部局に新規候補者の推薦と研修受講を依頼。※受講対象者約600人



研修参加者の声 ■（※R3アンケートより抜粋）

- 当時の業務を思い出しました。今後の災害に備え、もう一度業務内容について整理するよい研修となりました。
- 被災地での応援業務に携わった経験があることから、自分の立ち位置について理解がより深まりました。

(エ) eラーニング新規コンテンツの作成状況

- WGを適宜開催しながら新規コンテンツを作成中
- WBS及びPPTのたたき台が完成し次第、関係機関へ照会

	要配慮者への支援	防疫・遺体処理	災害廃棄物処理	
コーディネーター	鍵屋 一 (委員/跡見学園女子大)	山本 晋吾 (被災者支援コース講師/兵庫県)	平山 修久 (名古屋大)	
WGメンバー	田村 圭子 (委員/新潟大), 内閣府防災		内閣府防災	
WG/作業会開催状況	6/15,9/10,9/29,10/14,10/17,10/20, 11/3,12/3,12/5,12/23,2/17,2/27	6/15, 7/21, 8/10, 9/10, 10/6,10/9,1/5	6/15,6/21,12/13,3/8	
当初の目標	関係省庁等意見照会(12月中)、完成(1月中)			
現在の状況	<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者支援WBS(昨年度作成)をベース ガイドライン 1)福祉避難所→ほぼ終了 指針 2)個別避難計画→内閣府担当照会済み マニュアル 3)保健師協会→作業中の反映 PPTたたき台(作成中) 	防疫 <ul style="list-style-type: none"> 厚生省通知(災害防疫の実施)反映 水害サミットからの発信(国交省)反映 意見照会中 	遺体の取り扱い <ul style="list-style-type: none"> 1)先進自治体マニュアル(東京都・江戸川区), 2)遺族ケア(DMORT), 3)災害救助取扱事務反映, 4)有明講義資料反映 PPTたたき台 意見照会中 	<ul style="list-style-type: none"> 1)ガイドライン(環境省9), 2)経験自治体教訓(常総市・横浜市・益城町)反映 環境省照会済み→意見を反映中 自治体へ意見照会→刈取済み、反映中
予定	検討会委員によるメール審議を経て、公開(3月)			
参考資料	WBS & WP案、PPT案(遺体処理、災害廃棄物処理のみ)→検討会限り			

今後の防災スペシャリスト養成eラーニングの整備計画

